



株式会社 藤村農園の皆さん

経営概要

株式会社 藤村農園

◆代表者・所在地

藤村 敏浩 山口県山口市

◆設立

令和2年4月

◆経営規模

露地野菜（ブロッコリー等 12品目）、野菜苗 10ha

◆従業員数

役員2名、正社員3名、パート・アルバイト21名

◆事業内容

広大で肥沃な干拓農地で、販売用の苗や大規模な露地野菜栽培（12品目）の経営に取り組む。

1

現状と相談までの経緯

藤村氏が農業経営を行う地域は、山口市南部の畑作主体の干拓地であり、近年、高齢化により農業者は減少している。

そのため、農地の受け皿となる法人を令和2年4月に設立し、若い人材の雇用を図り、規模拡大を図ってきた（R1:7ha→R4:10ha）。

法人設立時に県農業経営支援塾（「やまぐち尊農塾」）を受講し中期経営計画を策定した。

その後、毎年度、山口県農業経営支援センターを通じ、経営診断を受けていた。

2

相談内容

直近の経営診断結果を踏まえ、担当された専門家との意見交換を行い、今後の経営発展方策に関する助言が欲しい。

また、親が高齢のため、長期的にスムーズに継承方法等に関するアドバイスもほしい。

3

支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

令和2年4月の法人化に際しても中小企業診断士、司法書士などの専門家を派遣している。今年度の要請に対し経営戦略会議を実施し、関係機関による支援チームを編成及び支援計画を策定した。

また、経営診断を担当された中小企業診断士の派遣を行うこととした。また、今後、税理士等により、相続・資産継承等も助言する予定である。

支援チーム構成員：中小企業診断士、JA山口県職員、山口市職員、県山口農業改良普及センター職員



（中小企業診断士による経営発展項目助言の様子）

■専門家派遣を通じた助言の実施

過去3か年の経営実績の提出を受け、山口県農業経営支援センターにおいて経営診断を行った。その後、県山口農業改良普及センターを中心に、相談者に対し、中小企業診断士氏を交え、経営診断結果の説明と、今後の経営発展に向けた助言を行った。

・経営診断結果について （中小企業診断士）

・B/S：十分な事業活動資金があり自己資本比率、流動比率等の安全性に問題はない。

・P/L：売上は着実に増加。固定費は増加しているものの規模拡大によるものであり、収益力に問題なし。

・今後の経営発展に向けた助言 （中小企業診断士）

・法人の経営目標である「規模拡大をし地域農業の活性化・雇用や経済に貢献」の実現に向け以下の実践願う

①経営計画グレードアップ（設立時の計画を再検討）

②PDCA活動、生産性の高い業務プロセス構築（GAP）

③会社内の経営活動の管理機能強化、組織・人材強化

④商品別採算管理表の作成と検証、販路開拓

⑤当社の強みウリの明確化「ブランド化、差別化」

・スムーズな相続・資産継承の検討（親の株式譲渡等）

■ 支援を受けて・・・

意見交換を通じて、現行経営の課題やより法人経営を強化するための項目が明確となった。（人材定着に向けたコミュニケーション活動や組織・人事制度の整備など）

法人の経営発展に向けた方向性が明確化された。

■ 今後の展開

専門家からの助言内容を基に、更なる経営発展にむけて、**できるところから実践していきたい。まず、新たな事業計画（3ヶ年の収支計画、設備・機械の更新計画等）の策定を検討したい。**

また、**親からの資産等の継承に向けた検討を始め、課題の解決を図りたい。**



機械による露地野菜収穫風景

喜びの声

山口県農業経営支援センターには、法人化時から、支援を受け、定期的に経営診断を依頼していました。今回の専門家の助言により、今後の経営発展に向けた方向性を整理できたので、実践に努めていきます。

専属スタッフ所感

相談者は、山口市南部の干拓地で露地野菜を主体に大規模経営を展開しています。

令和2年4月の法人化の際も支援しましたが、その後も、経営計画に従って、規模拡大・若者の雇用などを進めています。今後の経営展開方向について、助言を受けるため、専門家に過去3か年の経営実績の診断を依頼しました。

経営診断と専門家の助言により、新たな経営計画の策定と実践事項が整理されました。今後の展開方向が明確となったことで、今後の一層の活躍が期待できます。

<支援実施機関> 山口県農業経営・就農支援センター



経営相談窓口外観・就農増設窓口外観

組織概要

■ 相談窓口

〒759-8501

山口県山口市滝町1番1号 山口県農業振興課内
（県庁前バス停から徒歩1分）

【経営相談】

山口県農業協同組合営農企画課内
〒754-0002 山口市小郡下郷2139

【就農相談】

公益財団法人やまぐち農林振興公社内

山口県農業経営・就農支援センター（通称：担い手センター）は、21世紀の山口県農業を担う若者を育成・確保するための総合窓口として、山口県・市町村を始め農業関係機関・団体によって設立され、各市町村の窓口（地域担い手育成センター）や関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。